

集中治療部

スタッフ紹介



部長
こ お ぐ ち くに ひ こ
小尾口邦彦
(麻酔科学教室・
集中治療部
病院教授)

副部長	いのうえ みほ	集中治療、小児集中治療、麻酔
医員	たばた 雄一	集中治療、小児集中治療
医員	まつだ あゆみ	集中治療、麻酔
医員	いのうえ 敬太	集中治療、麻酔、心臓血管麻酔
医員	つねいし 鉄兵	集中治療、呼吸療法
医員	わたなべ 慎	救急医療、集中治療
医員	きた 昌子	集中治療、麻酔
医員	つるかわしんいちろう	集中治療、小児科
医員	ほその かずき	集中治療、救急医療
医員	はた べ	集中治療、救急医療
医員	かとう たくま	集中治療、脳神経内科
医員	もりた ひろ	集中治療、救急医療
医員	いかり し	集中治療、救急医療

私たちの業務

集中治療部は上記の専任スタッフで構成され、成人を対象とするICU（中央診療棟5階集中治療部）と、小児を対象とするPICU（同4階小児集中治療室）で重症患者の診療に当たっています。急性期医療を実践する病院の中核的サービス部門として、各診療科と連携・協力しながら安全で質の高い重症患者管理を提供すべく尽力しています。また、救命救急センター病棟の稼働に伴い、同病棟のカンファレンスにICU医師も参加し、緊密な連携に努めています。

ICUとPICUをあわせて12ベッドあり、年間合計で約1300名強の患者さんを収容しています。大学病院ならではの、心臓血管外科術後や循環器内科の高度なカテーテル治療後の患者の入室が非常に多いです。2024年4月に救命救急センターが開設したことにより、ERからの多彩な患者の入室数が増えました。限られたベッド数であるので、ベッドマネジメントの重要性がアップしていますが、各診療科・一般病棟の最大限の協力により医療安全を保っています。

私事ではありますが、筆者は、4年前、当部門に赴任しました。非常に高いレベルの大手術が日常の医療として行われていることに驚きを覚えました。多くの患者は、慢性腎不全、重症糖尿病、虚血性心疾患など併存症を有します。垣根なく各専門診療科が積極的に併診に関与するので、患者の早期回復・早期退院につながっていると実感する毎日です。

人工呼吸器や人工透析器、体外式心肺補助装置など最新の高度医療機器を利用した先進医療も集中治療の特徴としてあげられます。高度医療であるほど医療安全の確保が重要ですが、各専門診療科の医師と集中治療医、さらには看護師・臨床工学技士・薬剤師・管理栄養士、各種院内サポートチームなどの多職種の医療従事者が協働して、複雑な病態の重症患者さんの治療に当たっています。重症患者診療においては集中治療部の医師が主導する集学的チームアプローチが行われることで、患者さんの救命や早期回復に繋がるといわれています。我々の集中治療部はこれを実践できる京都府内でも数少ない施設の一つです。多職種カンファレンスも積極的に行われています。

本院では、大手術や、移植医療、再生医療など、大学病院でしか行えない高度で難しい急性期診療を積極的に推進しています。率直に言って、現在のICU・PICUの病床数はニーズにこたえるのには不十分な面がありますが、整備計画が進んでおり、数年後にはICUを集約しワンフロア化・ベッド数大幅拡充がみこまれています。これにより、さらに医療安全の向上や治療成績の向上に貢献できるのではないかと考えています。

大学病院の使命である教育や研究にも力を入れています。日本全国あるいは世界的な集中治療ネットワークに参画し、臨床研修を遂行しています。質の高い臨床研究により、診療の質が改善され、一人でも多くの重症患者さんが救命できることを目指しています。

府立医大 集中治療部 TEL 075-251-5725 (ICU)